

【農事組合法人うつぎファームの概要】



- 設立: 令和2年7月
- 構成員数: 18名
- 主要作物: 水稲、ベビーリーフ等
- 主な支援施策:
 - ・中山間地域等直接支払交付金
 - ・中山間地域農業農村整備事業
 - ・延岡市集落営農等支援型耕作者確保事業

地域は自分たちが守る！地域の農地を託された農事組合法人の取組

農事組合法人うつぎファーム(延岡市北方町)

ポイント

- 延岡市北方町打扇(うつぎ)地区は中山間地域に位置し、高齢化と担い手不足により耕作放棄地が急増。
- 「自分たちの地域は自分たちが守っていく」ことを理念とし、平成21年に中山間地域等直接支払交付金の集落協定により、集落営農組織を設立し、農作業を受託。
- 令和2年に農事組合法人に移行し、更なる農地の利用集積と共同利用機械等を整備。

平成21年以前

うつぎファームの活動

成果

高齢で設備投資が難しい

↓

共同利用機械等の整備

- 田植え機などの共同利用機械の導入
- ライスセンターを整備し、粃摺り乾燥を共同で実施

ライスセンター 提供: JA延岡

↓

機械に係る経費の節減
地域内の農業者の機械経費、資材経費及び維持管理費の節減

高齢のためにできない農作業がある

↓

農作業の受託

- 稲刈り

コンバインによる稲刈り

↓

農地の保全
地域内の農地周辺の草刈

↓

受託面積

年	面積 (ha)
H25年	0.8
R3年	1.4

地域内に耕作放棄地が増えてきた

↓

耕作放棄地の解消
耕作放棄地情報をファーム内で共有し、農地を集積

うつぎファームの耕作農地

↓

農地バンクを活用し経営面積拡大

年	面積 (ha)
H21年	0
R3年	22

地域に担い手が不足している

↓

高収益作物の拡大
ベビーリーフや白ネギなどの高収益作物の作付面積の拡大により収益の増加を図り、人材を確保

↓

スマート農業の推進
防除用ドローン及びほ場管理システム「KSAS」などのスマート技術の導入により作業を効率化

↓

常時雇用者の確保

年	人数
H21年	0
R3年	2



今後の展望

- 延岡市と地元のシステム開発会社と連携し、ハウス施設の自動環境制御システムを共同開発(現在、実証中)
- 地域から更に新たな人材を確保し、ファーム内の体制づくりを行うとともに、農地の集積による作業の効率化を図る
- 米粉の加工場を整備し、生産物に付加価値をつけ、地域を活性化